

社会教育・生涯学習関係職員等研修会【基礎編】事業報告

- 1 事業名 令和4年度「社会教育・生涯学習関係職員等研修会【基礎編】」
- 2 日時 令和4年6月10日（金） 13:00～16:30
- 3 趣旨 新任者及び学び直しを希望する者が、今後の社会教育・生涯学習の振興を図るために必要な基礎知識や資質・能力を身に付けるとともに、関係者同士のネットワークを構築する。
- 4 対象 市町村教育委員会職員、社会教育・生涯学習関係職員（公民館職員・家庭教育支援担当職員、地域活動指導員等）、首長関係部局職員等の新任者及び学び直しを希望する者等
- 5 研修内容
研修1〈講話〉「社会教育・生涯学習関係職員等への期待」
福岡県立社会教育総合センター 主任社会教育主事 水落 義行
研修2〈活動〉「グループでイニシアティブ（課題解決）体験」
福岡県立社会教育総合センター 社会教育主事 庄嶋 勝司
研修3〈グループ交流〉「担当業務の情報交換（課題や成果の共有）」
- 6 当日の様子



【講話の様子】



【イニシアティブ（課題解決）を体験の様子】



【ワールドカフェの様子】



【全体で共有の様子】

本研修では、講話及び活動、グループ交流を通して、社会教育・生涯学習の必要な基礎知識や資質・能力を身に付け、社会教育・生涯学習関係職員同士のネットワークを構築することを目的として研修内容を企画しました。

イニシアティブを体験しながら、参加者はグループで協力して課題を解決するよさを感じ取っていました。その後のワールドカフェでも、「悩みを共有することで、自分自身の業務を振り返ることができた」「今後の業務の参考になる意見が聞けた」等の声が多く聞かれ、悩みを共有しアドバイスをもらうことで、「明日からまた頑張ろう」という意欲を高めていました。

参加者は今回の研修会をとおして、それぞれの担当業務に対する理解と住民のために業務を行う大切さを実感し、他市町村の職員とのネットワークを広げることができていました。